

令和6年度 教育事業 法人ボランティア自主企画  
「わくわく！感動デイキャンプ」  
～自然でつながるながら仲間との輪 可能性は無限大！～

## 1 事業概要

大学生を中心とした法人ボランティアが、年長～小学2年生を対象にした事業を企画・運営した。この事業の目的である「年齢や学校種の異なる幼児と児童がつながり、仲間と協働する姿勢や思いやりの心を育む」ために、カプラブロックやウォークラリー、思い出作りなどを行った。参加者は親元を離れた環境で、年齢問わず、友達と協力する場面が見られ、楽しむことができていた。また、法人ボランティアは事業の企画・運営から、子供たちへの支援や言葉掛け等をどのようにすれば良いのかを真剣に考える良い機会となった。



## 2 事業の目的（ねらい）

年齢や学校種の異なる児童と幼児がつながり、関わっていく中で、仲間と協働する姿勢や思いやりの心を育てていくことを目的とする。自然体験を含む課題解決学習を通して、様々な状況に適応し、挑戦する中で、やり抜く力を育てていきたい。また、アイスブレイクやカプラを通して、異学年との関わり方を学び、コミュニケーション力や創造力、集中力などを身に付けさせると共に、仲間との達成感を感じさせたい。また、法人ボランティアが自主的に企画・運営を行うことで、ボランティア活動に取り組む意欲や実践力を高めたり、法人ボランティア同士の交流を深めたりする。

## 3 企画のポイント

法人ボランティア内から中心運営メンバーを募集し、そのメンバーがそれぞれのプログラムを担当した。「年齢や学校種の異なる幼児と児童がつながり、様々な体験活動を通して仲間と協働する姿勢や思いやりの心を育む」という目的を達成するための各プログラムを担当者が中心となって考えて提案し、その他のメンバーで意見交換をすることで、よりよいプログラムを参加者に提供することができた。

- |        |                                                                                                                                |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 主催   | 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家                                                                                                  |
| 5 期日   | 令和6年10月6日(日)                                                                                                                   |
| 6 場所   | 国立大洲青少年交流の家                                                                                                                    |
| 7 対象   | 年長(就学前幼児)、小学1・2年生の児童、法人ボランティア                                                                                                  |
| 8 参加人数 | 参加者23名(年長12名、小学生11名)<br>法人ボランティア13名(高校生1名 大学生10名 社会人2名)                                                                        |
| 9 参加費  | 600円                                                                                                                           |
| 10 日程  | 9:00 受付<br>9:15 開会式<br>9:30 アイスブレイク・カプラ<br>11:30 昼食<br>12:30 ウォークラリー<br>14:00 思い出作品づくり「ジグソーパズル」・ふりかえり<br>15:00 閉会式<br>15:30 解散 |

## 11 活動内容

### 【午前の活動】

年長～小学2年生を対象としたデイキャンプのプログラム運営は全て法人ボランティアが行った。アイスブレイクでは、誰もが知っている「じゃんけん」を用いてバリエーションに富んだものとなり、参加者の緊張がほぐれ、参加者同士のコミュニケーションが取れる内容となった。カプラブロック体験では、参加者一人一人の創造性を大切にしながら、友達と一緒に協力したり、片付け作業を行ったりすることができた。昼食では、法人ボランティアが参加者の間に入り、楽しく会話をしながら食事を楽しむ様子が見られた。



### 【午後の活動】

ウォークラリーでは、事前に法人ボランティアが、ときが森の様子を撮影した写真を元に、班に分かれ、ときが森を散策し、仲間と協力しながら写真の場所を探していく活動を行った。出発前には、担当者が注意事項を分かりやすく説明し、ボランティア全員で参加者の安全を見守りながらときが森を歩いた。思い出作品作りでは、ジグソーパズルの「1ピース」に見立てた画用紙に今日一日の思い出を絵で表現する活動を行った。折り紙やクレヨン等を用いて自由に描く時間は参加者同士の会話のきっかけになり、一日を振り返る良い時間となった。また、最後には、一人一人のピースを合わせ、全員で1つのジグソーパズルを完成させることができた。閉会式では、完成作品を保護者にも見ていただくことができ、参加者は嬉しそうな表情をしていた。



## 12 参加者の声

○事業後アンケート結果（参加者）

\*満足 95.6% \*やや満足 4.4% \*やや不満 0% \*不満 0%

### 【参加者】

- ・参加者から「楽しい、もっとここに居たい」という声をたくさん聞くことができた。
- ・参加者は、様々な植物を見付け、たくさん自然とふれあうことができていた。
- ・子供たちが全力で楽しんでいる姿を見られて良かった。（法人ボランティア）
- ・事業の運営の仕方や子供たちとの関わりについて学ぶことができた。（法人ボランティア）

## 13 事業の成果

中心運営メンバーを早めに募集することで余裕を持った企画ができた。法人ボランティアが紆余曲折しながらも自分たちの力で企画・運営をすることで達成感を味わうことができていた。この事業の目的である「年齢や学校種の異なる幼児と児童がつながり、仲間と協働する姿勢や思いやりの心を育む」を達成するために企画したプログラムは、非常に有意義な時間となり、参加者は楽しみながら自然とつながり仲間との絆を深めた。

この事業を通して、法人ボランティアは様々な面で大きく成長することができた。また、これまで関わることがなかった法人ボランティア間の仲も深まり、とても有意義な企画となった。

## 14 事業の課題

今回、対象年齢を昨年より下げた企画とした。応募も多くあり、ニーズの多い年齢層であったことから、より多く参加してもらえる方策を考える必要がある。また、法人ボランティアにとって有意義な企画ではあったが、準備等の負担は大きかった。各プログラムの細かい運営について協議する時間を確保することができなかつたので、次年度はさらに細かな打合せの時間を確保したい。

（担当：企画指導専門職 都合 美帆）